

## 重要インフラにおける分野横断的演習の 実施概要について～【2015年度分野横断的演習】～

内閣サイバーセキュリティセンターは、重要インフラ事業者をはじめとする302組織の参加を得て、本年度で10回目となる分野横断的演習を実施しました。

各参加者ともに、本演習を通じて、情報セキュリティインシデント発生時の組織内外との情報共有体制の構築・改善、事業継続計画（BCP）等の策定・改訂につながる多くの知見が得られました。

### 1. 実施日時・場所

2015年12月7日（月） 12：15～18：15

東京会場：TKPガーデンシティ永田町

大阪会場：TKPガーデンシティ東梅田

他に自職場からの参加あり

### 2. 参加機関等

【重要インフラ事業者等】 13分野（情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油）の277機関

【セプター】 13分野の18セプター<sup>\*1</sup>（通信、ケーブルテレビ、放送、銀行等、証券、生保、損保、航空、鉄道、電力、ガス、地方公共団体、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油）

【政府機関】 重要インフラ所管省庁（金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省）、NISC

【関係機関】 情報処理推進機構、JPCERT コーディネーションセンター 等

合計 302組織 1,168名が参加（うち66組織 149名が大阪会場参加、36組織 315名が自職場から参加）

\*1：「セプター（CEPTOAR）」とは、各重要インフラ分野で整備されている情報共有体制のこと。情報共有・分析機能を示す英文の頭文字。

CEPTOAR：Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response

### 3. 演習内容

演習は2部構成で実施し、第1部では、各分野においてサービスへの影響が小さいIT障害が発生したことを想定し、分野間・官民間での連携を図ることによる情報共有体制の実効性を検証しました。

第2部では、サービスへ影響が生じるIT障害が発生し、事業継続が脅かされる事態を想定し、事業継続計画の発動方法や、その手順を確認するなど、事態への対処を検証しました。

なお、演習を2部構成としているのは、それぞれの検証課題に対する参加事業者等の理解を深める効果を狙ったものです。

演習後の全体振り返りにおいては、

- ①想像力を発揮し、限られた情報から対応することが重要。
- ②例えば、深夜等リソースが限られている時に同様の対応ができるのかといった検証も必要。
- ③本日の演習で得られた気づき・課題を持ち帰り、自社の改善につなげられるかが重要。

等の意見が有識者から出されました。

### 4. 今後の展開

各重要インフラ事業者等においては、本演習を通じて得られたBCP等における知見を自社や各分野内で共有し、サイバーセキュリティ対策の向上等の取り組みに活用されることが期待されます。

また、内閣サイバーセキュリティセンターにおいては、政府機関や重要インフラ事業者等の連携の下、我が国全体のサイバーセキュリティ体制が盤石なものとなるよう、本演習で得られた知見を各分野へ普及展開することで、重要インフラ防護対策の向上を図ってまいります。

#### 【問い合わせ先】

内閣サイバーセキュリティセンター

内閣参事官 柳原 拓治

参事官補佐 添田 誠二

電話：03-3581-8903